

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000084	部名	土木建設部	課名	土木課	
計画事業事業名	道路橋りょう管理事業							
構成予算事業名 (財務会計コード)	道路台帳整備事業						(820257)	
	道路橋りょう一般管理事業(土木課)							
予算科目等	会計名	一般会計	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう総務費 道路維持費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<ul style="list-style-type: none"> ○台帳整備及び街路灯電気代は、市が行なう本来業務である。 ○街路灯設置箇所での事故・犯罪の発生件数等を押さえる必要がある。 ○市域を2方式で管理する必要はない。実質的に2社がそれぞれ独占している状況にあり、早急に改善が必要である。 ○台帳の電子化を早急に検討すること →道路のみならず、地図情報を活用するものすべてを集約、レイヤー管理する方向が望ましく、主管課を決めて早期に対応すべきである。 ○街路灯の電気代削減のためにはLED化が有効。 →現状、6～7年で水銀灯とのコストと並ぶことから、計画的な更新をされたい。 (設置と電気代を執行する事業は統合した方がよい) ○道路台帳整備の委託は、一括実施し経費の削減を図ることができるのではないかと。他市の研究も進められたい。 ○「水銀灯」と「LED灯」とで電気料金は異なるが、それぞれの電気料を担当課で把握しているのは良い点である。地道にデータを取っておくと、後々それを活用して戦略を立てやすくなる。 							
担当課 としての考え	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は、市域を2方式で管理しているが、今後電子化を図るなかで改善をしていく。 ・台帳の電子化については、29年度予算で要求し4箇年での整備を検討している。 ・街路灯のLED化については、計画的な更新を考えていく必要はあるが、33年度以降に順次実施を検討していく。 ・道路台帳の整備は、台帳の電子化を進めていくなかで、他市の事例も参考にしながら今後の整備方法を決めていく。 							
全体的な 見直し方針	<ul style="list-style-type: none"> ・道路台帳については、現在のアナログ方式から電子化への移行を進めることから費用が増加する。 ・街路灯のLED化についても、計画的に進めていく。 							
見直し方針区分	D 予算増を伴う事業見直し							
具体的見直し内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)	/	
	平成29年度	・道路台帳の電子化(初年度)				20,500	/	

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000097	部名	土木建設部	課名	土木課	
計画事業事業名	長田野工業団地維持管理事業							
構成予算事業名 (財務会計コード)	長田野工業団地維持管理事業						(120207)	
	長田野工業団地花いっぱい事業						(120225)	
予算科目等	会計名	一般会計	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路維持
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<ul style="list-style-type: none"> ○要望に対する実現度も考慮すべきである。 ○見栄えよりも、機能性重視とされたい。 ○大規模修繕(工事)を入れた場合と小修繕継続の場合とのコスト比較が必要である。 →トータルコスト(フルコスト)指標がいる。 ○維持管理だけ見るのではなく、フルコストでの費用最小化が至上命題である。 →コスト比較を十分に行って、計画的に整備していくことが望ましい。 ○長田野は特別会計的存在 — 良好な環境維持は至上命題である。 →市域全体のモデルとなるような取り組み(事業ではなくコスト管理と計画性)を検討されたい。 ○街路樹の剪定・撤去費用等に林業振興課が所管している「豊かな森を育てる府民税交付金」などを活用できないか。 							
担当課 としての考え	<ul style="list-style-type: none"> ・福知山市の産業集積の中心である長田野工業団地は分譲開始(昭和45年)から46年を経過しているが、41社の企業が操業する国内有数の内陸工業団地である。 ・本市の中核を担う工業団地の魅力の維持推進のためには、福知山市として企業のニーズを図り、工業団地の環境維持について協力することは本市にとっても大きな役割であり、管理者として市道の健全な維持管理を図るため、長田野工業センターからの要望を受け、大規模修繕については、スポット的に計画を立てて行い、小修繕については継続的且つ総合的に計画を立てて実施していく。 							
全体的な 見直し方針	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕について全体計画を策定する。 ・大規模修繕のリスト化を行う。 							
見直し方針区分	D 予算増を伴う事業見直し							
具体的 見直し 内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)		/
	平成29年度	大規模修繕として案内看板・橋梁高欄修繕を実施				5,000		/

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000119	部名	土木建設部	課名	土木課	
計画事業事業名	橋りょう維持管理事業							
構成予算事業名 (財務会計コード)	橋りょう維持管理事業						(120125)	
	橋りょう長寿命化修繕事業						(120175)	
	橋りょう長寿命化対策事業						(120324)	
予算科目等	会計名	一般会計	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	橋りょう維持費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<ul style="list-style-type: none"> ○市民に対し、予防的修繕の経済効果を明らかにされたい。 ○点検は、今後の利用状況も踏まえ、橋りょうの廃止等についても実施すべきである。 ○橋や道路は暮らし方と大きくかわる。優先順位のつけ方をよく考えられたい。 ○橋りょうの点検を行っていくなかで、台帳やデータの整理をしっかりと行うことが大切。 							
担当課 としての考え	<ul style="list-style-type: none"> ・橋梁の点検については、平成25年の道路法の改正により道路管理者である市が5年ごとに1度、近接目視による点検を実施することが義務付けられた。 ・点検結果を基に、修繕計画を樹立し、従来の事後保全型管理から予防保全型管理に移行していく。 ・修繕計画策定においても、迂回路の有無・重要度(幹線道路・地域間を結ぶ道路・通行止めの場合孤立集落が生じる路線)・幅員・耐用年数・添加物の有無などを評価し、優先順位をつけていく。 ・修繕計画を策定する中で、必要性も考慮し、落橋など廃止が可能か判断する。 ・修繕計画策定において、ライフサイクルコストを算定し、経済効果を検証する。 ・修繕計画については、市民に理解されるよう公表を考える。 							
全体的な 見直し方針	<ul style="list-style-type: none"> ・現行事業は継続的に実施する。 ・計画策定の結果を市民へ公表し経済効果を検証する。 							
見直し方針区分	E 現行通り							
具体的見直し内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)	/	
	平成29年度	-				-	/	

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000061	部名	土木建設部	課名	建築課	
計画事業事業名	安心・安全の建物整備							
構成予算事業名 (財務会計コード)	住宅耐震改修事業						(550105)	
	住宅耐震診断事業						(550110)	
	大規模建築物耐震化緊急支援事業						(550123)	
予算科目等	会計名	一般会計	款	消防費	項	消防費	目	災害対策費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<p>1 私有財産へ公金を投入する意味や効果・影響力を考えるべきである。</p> <p>2 国の制度をそのままあてはめるのではなく福知山市にあった制度にアレンジできれば効果的になる。</p> <p>3 耐震に関するまちの姿を描き、限りある市の財政の中で公平性をどうとらえるのかを考えるべき。</p> <p>4 本制度を知っている人とそうでない人の間で情報格差がある可能性があるため、市民への広報に工夫が必要。</p>							
担当課 としての考え	<p>1 法及び国、府の耐震計画により方針が示され実施される制度であり、適切と考える。</p> <p>2 他市の制度を参考にし、本市において効果的となる手法を検討する。</p> <p>3 平成28年度に行う耐震計画の改定において検討する。</p> <p>4 広く周知が届く様、広報の手法を検討する。</p>							
全体的な 見直し方針	<p>建築物の耐震化は、国、府により方針が示され実施されている制度であり、市においても市民の生命と財産を守るために必要な事業として実施していく。</p> <p>他市の状況や効果的な手法を検討し、広報、啓発に工夫を行い、民間での耐震化の状況を把握し目標数量を明確にする事等により、市民の安心・安全という目的を達成するためにより効果的な制度となるよう取組んでいく。</p>							
見直し方針区分	C 予算削減を伴わない事業見直し							
具体的見直し内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)	/	
	平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・手法を検討し、広く周知が届くようにする。 ・他市の状況、民間の状況を調査し、効果的な手法を検討する。 				0	/	

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000917	部名	土木建設部	課名	都市計画課	
計画事業事業名	景観形成推進事業							
構成予算事業名 (財務会計コード)	景観形成推進事業						(510304)	
予算科目等	会計名	一般会計	款	土木費	項	都市計画費	目	都市計画総務費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<p>①「景観」という価値が、市民共有のものとなっているかどうか疑問である。写真コンクール、シンポジウムの参加者数が関心の低さをものごとになっているのではない。</p> <p>②最小限の費用とはなっているが、屋外広告物については費用に見合った成果を導けていないように思われる。</p> <p>③「審議会での意見から」ということだけでなく、これからどのように景観施策を推進していくのか、具体的な手段を含めたプランが必要ではないか。一例としては</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重点地区における屋外広告物の取組推進 ・重要建造物に関する保存、活用のワークショップ(高校生、大学生を含む)実施 など。 <p>④予算的に負荷の高いハード事業などは、他課の事業を活用しながら進めれば良いと思われる。</p> <p>⑤助成制度は時期尚早である。景観重要建造物を指定するには、それを維持するための制度設計の下絵を作ってから十分に地元や関係機関と協議されたい。</p> <p>⑥市民の意識醸成を目的として事業執行しているが、何を持って、意識醸成とするのか、いつまでするのか等定まっていない。特定地域の意識醸成のみを目的とすることも考えられるのではないか。</p> <p>⑦他補助金との連携も検討されたい。例えば、「耐震化住宅補助」と同時に「景観形成の住宅立替」を行うなど。</p>							
担当課 としての考え	<p>①③全市を対象にするより、アドバイスにあったように景観重点地区や景観重要建造物の候補地域を対象に景観勉強会を開催する。</p> <p>②屋外広告物の新規届出・更新の事務を行っている状況であり、条例化を含め積極的な展開が描けていない。アドバイスのとおり、景観重点区域内をまず手始めに、屋外広告物の条例化を検討する。</p> <p>①③⑥ワークショップについては今後検討し、意識醸成の確認手段ともしていく。</p> <p>④現状においては、まちなみ環境整備事業を活用し、都市計画課は「景観」のスタンスで関わる。</p> <p>⑤⑦制度設計や他補助金との連携については今後検討する。</p>							
全体的な 見直し方針	<p>◆景観施策の推進における年度単位の具体的なスケジュールの見直しを行い、明確であり実情にそった目標を設定しなおす。</p> <p>◆屋外広告物条例策定に向けワークショップを行うとともに全市民を対象としたアンケートを実施するなど意識調査から始める。</p>							
見直し方針区分	B 予算削減を伴う事業見直し							
具体的 見直し 内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)		
	平成29年度	<p>・助成制度は時期尚早であり、まずは制度設計からという意見、及び例年の結果から考え、助成制度に関する景観審議会部会の開催予定回数を削減した。また、検討段階ではあるが、部会を用いたワークショップを行う予定である。</p> <p>・景観重要建造物の指定を行うために制度設計の下絵を十分に作成する必要があるとの意見を受け、景観重要建造物指定調査業務を削除した。</p>				△ 716		

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000239	部名	土木建設部	課名	都市整備課		
計画事業事業名		土地調査関連事業							
構成予算事業名 (財務会計コード)		官民境界確定事業					(510113)		
		地籍調査事業					(510121)		
予算科目等		会計名	一般会計	款	土木費	項	土木管理費	目	土木総務費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見		<p>○このまま着実に実施されたい。</p> <p>○協力者としての推進委員の選定は丁寧になされたい。</p>							
担当課 としての考え		<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度から地籍調査事業を実施しているが、1地区あたり3～4年程度の年数を要することから、今後は、同一年度に複数の地区立会を実施していく必要がある。 ・本事業は国及び京都府の補助金により実施していることから、着実な実施に向けては、国への予算要望が重要である。 ・地籍調査推進委員については、事業実施の早期に丁寧な事業説明及び地元調整を行い、各自治会ごとに適正な人選をいただけるようにしていく。 ・官民境界確定事業については、地籍調査事業を実施した地区では不要となるが、当分の間は現在の事業を継続していく。 							
全体的な 見直し方針									
見直し方針区分		E 現行通り							
具体的見直し内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)					【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)	/	
	平成29年度	-					-	/	

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000243	部名	土木建設部	課名	都市整備課
計画事業事業名	由良川改修促進事業						
構成予算事業名 (財務会計コード)	由良川改修事業等同盟会活動事業【款)土木費 項)土木管理費 目)土木総務費】						(550381)
	由良川改修事業等事業調整事業【款)土木費 項)土木管理費 目)土木総務費】						(550383)
	由良川中下流部河川改修用地取得事業【款)土木費 項)河川費 目)河川総務費】						(550390)
	由良川水系樋門等施設管理事業【款)土木費 項)河川費 目)河川総務費】						(550382)
予算科目等	会計名	一般会計	款		項		目
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<p>○そもそも当該の政策課題において市の果たすべき役割を定義した上で、事業の目的とめざすべきゴールを明確に描き、その達成手段として合理的かつ効果的な手法がとられるよう事業設計を綿密に行うこと。</p> <p>○予算単位または計画単位が複数にわたっている事業であっても、実務上は一体的に実施しているものについては、的確な実績把握と事務の効率化を進めるため、できる限り統合を進めること。</p>						
担当課 としての考え	<p>・由良川緊急治水対策用地取得事業は、国土交通省から委任を受けた用地取得に限定した業務であったが、その用地買収が完了したため、福知山市全域で実施する由良川中下流部河川改修用地取得事業と統合する。</p>						
全体的な 見直し方針	予算事業の統合を進める。						
見直し方針区分	C 予算削減を伴わない事業見直し						
具体的見直し内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)	/
	平成29年度	・由良川緊急治水対策用地取得事業を統合				-	/

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	001038	部名	土木建設部	課名	都市整備課	
計画事業事業名	由良川緊急治水対策用地取得事業							
構成予算事業名 (財務会計コード)	由良川緊急治水対策用地取得事業						(550393)	
予算科目等	会計名	一般会計	款	土木費	項	河川費	目	河川総務費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	○予算単位または計画単位が複数にわたっている事業であっても、実務上は一体的に実施しているものについては、的確な実績把握と事務の効率化を進めるため、できる限り統合を進めること。							
担当課 としての考え	・由良川緊急治水対策に係る国土交通省から委任を受けた用地取得に限定した業務であったが、その用地買収が完了したため、福知山市全域で実施する由良川中下流部河川改修用地取得事業と統合する。							
全体的な 見直し方針	予算事業の統合を進める。							
見直し方針区分	C 予算削減を伴わない事業見直し							
具体的見直し内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)	/	
	平成29年度	・由良川中下流部河川改修用地取得事業と統合				-	/	